

日本と中国

Japan and China Friendship Newspaper

昭和42年2月6日第三種郵便物認可/発行/公益社団法人日本中国友好協会

飯田地域版/編集: 飯田日中友好協会/会長: 清水可晴

飯田日中のニュース 2021年11月号第337号

事業の予定

来月12月の活動予定

- 3日(金) 飯田日中3役会/満蒙開拓平和記念館
- 5日(日) 2・3世向日本語教室/阿智
- 16日(木) 合同帰国者サロン忘年会/中華料理福龍居
- 19日(日) 2・3世向日本語教室/阿智

中国残留婦人/相沢千代子さん二世

相沢莉依さん第26回女性文化賞受賞

主催 n p o 法人平塚らいてうの会 / 於: 満蒙開拓平和記念館



女性文化賞を受賞し、あいさつする相沢莉依さん

飯田市時又の相沢莉依さん(68)の女性文化賞受賞を祝う会が13日、阿智村の満蒙開拓平和記念館で開かれた。中国残留日本人二世の相沢さんは、母千代子さん(94)と、永住帰国を支援してくれた故中島多鶴さん(泰阜村)の名前を挙げて感謝し、「恐ろしい戦争を忘れず、絶対に起こさない。私たち二世や三世、4

世が日本でどう生きて、社会に貢献できるか。たくさん課題を考えたい」と決意を述べた。相沢さんは43歳だった1996年に帰国した。中国と日本での生活や平和への願いをつづった自分史「幸 幸運に恵まれた平凡な人生」を自費出版。日満州(中国東北)に渡って敗戦の混乱で残

留した千代子さんとの2代にわたる激動の人生をまとめた「離郷ものがたり」の出版を予定している。これらの文章が「数多くの困難な体験を含め『幸運幸福に恵まれた』と振り返るところが自立した女性の生き方として深い感動を与える」と評価された。祝う会で、同賞を主催するNPO法人「平塚らいてうの会」会長で女性史研究者の米田佐代子さん(87)「本紙くらし面でインタビューを連載中」は「地域で働きながら、自分の新しい生き方を求めて前進する。母語でない日本語で書き、発信の強さに感動した」とたたえた。

同賞は97年から女性文化の創造に貢献した人や団体に贈っている。

11月の活動報告等

中国残留邦人等援護に係わる市町村担当者研修会が開催されました。

11月24日(水) 長野県地域福祉課主催の題記研修会と講演会がオンラインで開催されました。

講演は「ひいおばあちゃんは中国にお墓をつくった「満州・戦争」講師/飯島春光元中学校教諭を聴講。

そのほか 11月の活動報 / 7日(日) 2・3世向日本語教室/阿智

18日(木) 豊丘帰国者サロン教室/豊丘はつらつ

21日(日) 2・3世向日本語教室/阿智